

自分の時間を有効活用しませんか？



国勢調査や農林業センサスなど、国や県が行う統計調査が数多くあります。これらの統計調査では、あらかじめ町に登録された統計調査員へ協力を依頼し、調査を行っています。

町では、随時、統計調査員として登録していただける方を募集しています。

☆統計調査員の役割

国や県からの任命を受けて、世帯や事業所等を直接訪問し、調査票の記入依頼や調査票の回収を行っていただく等、統計調査の中で最も基本的な部分を受け持っています。

☆統計調査員の身分

調査期間中(約2か月間)は非常勤の公務員となります。それにより、調査で知った事を、調査期間中はもちろん調査が終わってから他の人に漏らしてはならない守秘義務が課せられます。また、調査活動中に災害にあった場合は、公務災害補償が適用されます。

☆統計調査員として登録していただける方

1. 20歳以上の方
2. 統計に関する理解と熱意を有し、責任を持って調査事務を遂行できる方
3. 秘密の保護に関して責任の持てる方
4. 警察・税務・興信所等の業務に従事していない方および選挙運動に直接関係のない方

☆仕事のケース

登録していただくと、調査実施1〜2か月前に電話で調査の従事をお願いいたします。その際、都合が悪ければ断っていただけます。ご自身の都合とあわせて、空いた時間を有効に活用していただくことができます。ただし、調査の実施数や規模は、年によって異なりますので年間を通して仕事があるとは限りません。

☆報酬

統計調査が終了しますと、統計調査ごとに定められた報酬が支払われます。調査の内容、受け持ちの件数によって異なりますが、おおむね2万円〜6万円です。

☆登録方法

登録するにあたっては、申請書に記入していただく必要があります。詳細は、企画振興課へお問い合わせください。

◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当

☎65552 有線589963

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

実りの秋。
飯米用のキヌ
ヒカリの「白
すり」をした
ところ「歌どり
でした。(一畝
に一俵、10 a
に60kgの収穫
「鉄頭」にな

しい状況が続いています。この間、石巻市の副市長さんが滋賀県町村会に來られ、「東北は落ち着いていように見えますがこれからは復興なんです。職員派遣など支援をお願いします。」と話されました。全国からの支援は当然のことですが、もつと国が本腰を入れるべきだと思います。

って30年、はじめての経験です。今年も、天候に恵まれたのかイモチ病の発生もなく「ゆるご」も少なくきれいなお米でした。七月、八月も日曜日毎に水を入れ、間断灌漑したことが効を奏したのかと思います。米価は安いけれど農家にとつて収穫の喜びは格別です。ところが、近江鉄道沿線では、除草剤散布による残留農薬の関係で、片側百メートル幅で収穫せず稲わらごと搬出し処分することになりました。日野町でも約50ヘクタールになります。食の安全と近江米のブランドを守るためとはいえ、丹精込めて育てた米を処分することは「断腸の思い」だとお察しします。

ところで、政府は「エネルギー戦略」で「2030年代に原発稼働ゼロを可能とするよう、あらゆる政策資源を投入する」という方針を決定しました。一方で、原発の安全性が確認されていないことや使用済み核燃料の処分技術が確立されていないことなどから直ちに原発ゼロに向かうべきとの世論が高まっています。

子どもの頃、カマで迷路のように稲を刈り、1日家族みんなで作業しても一反の田んぼの収穫が精一杯でした。便利な時代から逆戻りはできないけれど、節約と工夫、身の丈に合った暮らしも大切です。あの頃と同じように今年も畦道に真っ赤な曼珠沙華の花が咲き、草むらから虫の声が聞こえてきます。自然と人間の共生を本気で考える時なのかも知れません。

「断腸の思い」といえば、東北では津波で壊された田んぼ、放射能の風評被害など東日本大震災から1年半余が経過した今も厳